

平成30年3月期

決算説明会資料

開催日時:平成30年5月17日(木) 15:30~16:30

会 場:兜町平和ビル3階 日本証券アナリスト協会会議室

株式会社C&Fロジホールディングス

東京証券取引所市場第一部 証券コード9099

URL://www.cflogi.co.jp/

目次



1. 平成30年3月期決算の概要	•••P2
2. 営業収益の分析	•••P3
3. セグメント別営業収益および利益の概要	•••P4
4. 業態別営業収益の概要	•••P5
5. 営業原価の分析	•••P6
6. 連結貸借対照表の概要	•••P7
7. 設備投資実績および減価償却費(実績)	•••P9
8. 人員および車両台数の比較	•••P10
9. 平成31年3月期通期業績見通し	•••P11
10.設備投資計画および減価償却費(計画)	•••P13
11.株主還元について	•••P14
12.第一次中期経営計画の進捗	•••P15
13.トピックス	•••P17
14.参考資料	•••P19

※決算説明にあたっての留意点

※本文中、C&Fロジホールディングスを「CF」、当社グループの主要事業会社である ヒューテックノオリンを「HN」、名糖運輸を「MU」と表記しております。

平成30年3月期決算の概要



(単位:百万円/Millions of yen)

									ユ・ロッツ 1/ IVIIII		
		平成29年3月期実績 FY2016 results		平成30年3月期実績 FY2017 results				平成30年3月期業績予想 (注) FY2017 forecasts			
	金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	增減額 Increase/ Decrease	增減率 Increase/ Decrease rate	金額 Amount	構成比 Structural ratio	增減額 Increase/ Decrease	增減率 Increase/ Decrease rate	
営業収益 Operating revenue	103,806	100.0%	104,167	100.0%	360	0.3%	104,000	100.0%	167	0.2%	
営業原価 Cost of sales	95,719	92.2%	95,771	91.9%	51	0.1%					
販売費及び一般管理費 Selling,general and administrative expenses	4,245	4.1%	4,550	4.4%	304	7.2%					
営業利益 Operating income	3,841	3.7%	3,845	3.7%	4	0.1%	3,800	3.7%	45	1.2%	
営業外損益 Non operating profit and loss	98	0.1%	135	0.1%	37	37.9%					
経常利益 Ordinary income	3,940	3.8%	3,981	3.8%	41	1.1%	3,800	3.7%	181	4.8%	
特別損益 Extraordinary income or loss	26	0.0%	△ 58	△0.1%	△ 84					_	
親会社株主に帰属する当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	2,680	2.6%	2,604	2.5%	△ 75	△2.8%	2,400	2.3%	204	8.5%	

(注)業績予想については、平成29年11月8日に公表したものです。

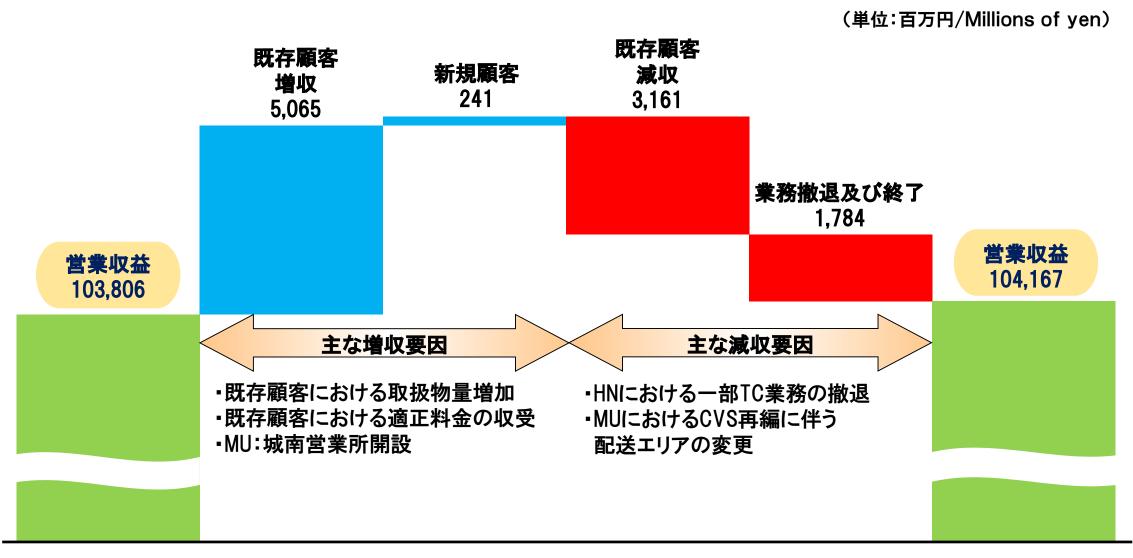
営業外損益の増減要因 : 受取賃貸料(+33百万

:受取賃貸料(+33百万円)、生命保険返戻金(+29百万円)、支払利息(△19百万円)、為替差損益(△56百万円)他

特別損益の増減要因 :減損損失(+109百万円)他

営業収益の分析





平成29年3月期 実績

平成30年3月期 実績

セグメント別営業収益および利益の概要



(単位:百万円/Millions of yen)

			_					(辛匹·日刃)]/Willions Of yen/
		平成29年3月 FY2016 r		平成30年3月期実績 FY2017 results				主な要因
		金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	增減額 Increase/ Decrease	增減率 Increase/ Decrease rate	Main factors
DC事業	営業収益	31,465	30.3%	32,175	30.9%	710	2.3%	•HN:冷凍食品の取扱物量増
(保管在庫型物流事業) Distribution Center	セグメント利益 (利益率)	3,879 <i>12.3%</i>	47.2%	4,072 <i>12.7%</i>	47.5%	192	5.0%	・グループ内の施設・車両相互活用ならびに 業務内製化による外注費の削減
TC事業	営業収益	70,749	68.2%		67.4%	△ 504	△0.7%	・HN:一部業務の撤退 ・MU:CVS再編に伴う配送エリア変更による減収 ⇒上記除く既存べ一ス比較では2.4%増収
(通過型センター事業) Transfer Center	セグメント利益 (利益率)	4,037 <i>5.7%</i>	49.2%	4,213 <i>6.0%</i>	49.1%	176	4.4%	・グループ内の施設・車両相互活用ならびに 業務内製化に伴う外注費の削減・業務撤退に伴う外注費の削減
その他(注2)	営業収益	1,591	1.5%	1,746	1.7%	155	9.7%	・MU:人材派遣業務の受託増加 ・HN:病院関連物流業務の取扱物量増
Others	セグメント利益	295	3.6%	289	3.4%	Δ5	△1.9%	
	(利益率)	18.6%		<i>16.6%</i>				

(注1)『DC事業』にはベトナム事業が含まれております。

⁽注2)『その他』には警備輸送業、病院関連物流業、人材派遣業、保険代理店業および本社管理費等が含まれております。

業態別営業収益の概要



(単位:百万円/Millions of yen)

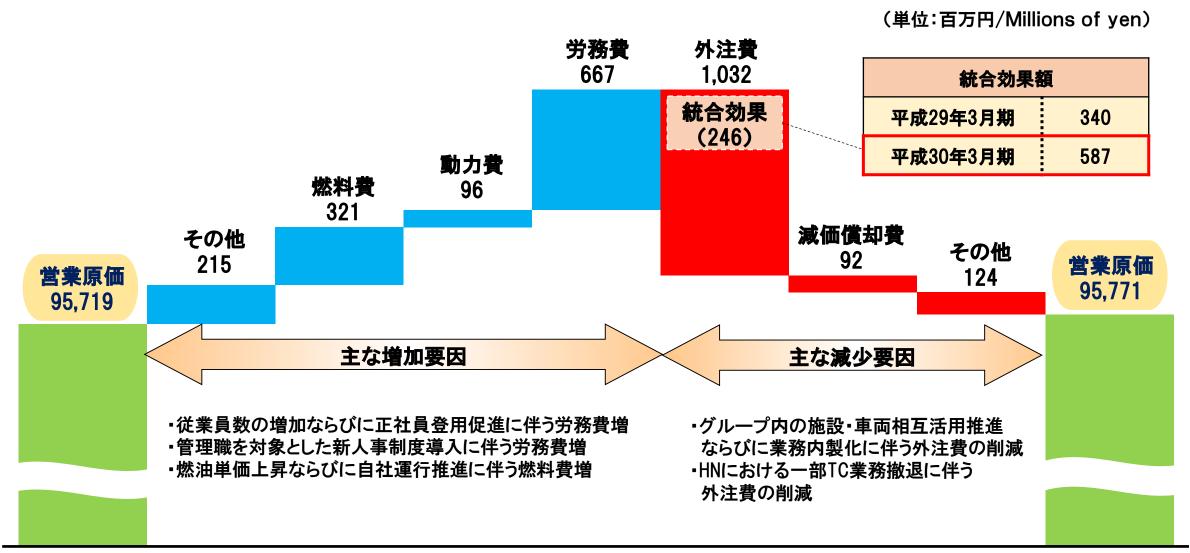
							, i — i i i i i i i i i i i i i i i i i	
営業収益 Operating revenue	平成29年3月期実績 FY2016 results		平成30年3月期実績 FY2017 results				主な要因	
by business category	金額 Amount	構成比 Structural ratio	金額 Amount	構成比 Structural ratio	增減額 Increase/ Decrease	增減率 Increase/ Decrease rate	Main factors	
共同配送(注1)	58,956	56.8%	60,567	58.1%	1,610	2.7%	既存顧客の取扱物量増 適正料金の収受	
コンピーエンスストア物流	14,721	14.2%	15,089	14.5%	367	2.5%	MU:城南営業所開設 MU:CVS再編に伴う配送エリア変更による減収	
チェーンストア物流	15,282	14.7%	13,605	13.1%	△ 1,677	△11.0%	HN: 一部TC業務の撤退	
問屋物流	8,510	8.2%	8,380	8.0%	△ 129	△1.5%	HN: 一部DC業務の終了	
保税·加工 _(注2)	2,715	2.6%	2,686	2.6%	△ 29	△1.1%		
その他	3,620	3.5%	3,837	3.7%	217	6.0%	MU: 化粧品・雑貨の取扱物量増	
【合計】	103,806	100.0%	104,167	100.0%	360	0.3%		

(注1)共同配送は、HNにおけるフローズン(DC事業)およびMUにおけるのチルド(TC事業)を合算した数値になります。

⁽注2)『保税・加工』はHNにおけるDC事業での外貨取扱および野菜等のパッケージ詰め(ミックスベジタブル等)加工による営業収益を合算した数値です。

営業原価の分析





平成29年3月期 実績

平成30年3月期 実績

連結貸借対照表の概要(資産の部)



(単位:百万円/Millions of yen)

							(十四:日7	1 / MINING OF A FILL
						平成29年3月期末	平成30年3月期末	増減額
						(March 31, 2017)	(March 31, 2018)	increase/decrease
[流	動	資	産)	18,271	18,837	566
現	金	及	び	預	金	5,791	4,887	△ 904
営	業	5	ŧ	収	金	10,447	11,659	1,212
そ	の 1	他	荒	資	産	2,032	2,290	258
[固	定	資	産]	58,182	59,654	1,471
有	形	固	定	資	産	49,977	50,550	572
無	形	固	定	資	産	282	742	459
投	資そ	- の	他(の資	産	7,922	8,361	439
	資	産	合	計]	76,453	78,491	2,037

■主な増減項目

【流動資産】

・営業未収金:3月末休日の影響による増加 (+1,257百万円)

【固定資産】

- ·有形固定資産:HN箕面森町事業用地の取得 (+3,096百万円)
- ・無形固定資産: メイトウベトナム第二倉庫借地権の取得 (+446百万円)

連結貸借対照表の概要(負債・純資産の部) 🧢



(単位:百万円/Millions of yen)

						\ == = + =	1 1/ Willions of Jon's
					平成29年3月期末	平成30年3月期末	増減額
					(March 31, 2017)	(March 31, 2018)	increase/decrease
[流	b 1	負化		16,941	19,399	2,458
営	業	未	払	金	4,095	4,218	123
短	期	借	入	金	3,335	5,509	2,173
リ	_	ス	債	務	1,837	1,779	△ 57
そ	の他	流	動り	負債	7,673	7,892	219
[固	È 1	負化		25,519	23,095	△ 2,424
長	期	借	入	金	7,048	6,039	△ 1,009
リ	_	ス	債	務	9,768	8,134	△ 1,633
そ	の他	固	定負	負債	8,702	8,920	218
	負化	t f	<u> </u>	<u> </u>	42,461	42,494	33
	株 🖠	Ėj	資す	k]	33,052	34,837	1,785
資		本		金	4,000	4,000	-
そ	の他	株	主道	本	29,052	30,837	1,785
そ(の他の台	9括和	削益累	計額	208	341	132
非	支 配	株	主	寺 分	731	817	86
	純資	産	合:	H]	33,992	35,996	2,004
	負債・網	純資	産合	計】	76,453	78,491	2,037

■主な増減項目

【固定負債】

・長期借入金:返済による減少

・リース債務:リース料支払いによる減少

設備投資実績および減価償却費(実績)



(1)設備投資実績

(単位:百万円/Millions of yen)

	平成30年3月期 当初計画 FY2017 forecasts	平成30年3月期 実績 FY2017 results	主な内容 Main contents
有形固定資産	6,977	5,491	HN箕面森町事業用地(3,096百万円) 自社保有の車両代替・増車(948百万円) ・代替:117台、増車:20台
リース資産	1,061	443	リースの車両代替・増車(317百万円) ・代替:28台、増車:5台
無形固定資產	97	549	メイトウベトナム第二倉庫用地借地権(446百万円)
合計	8,135	6,485	

(2)減価償却費

(単位:百万円/Millions of yen)

	平成29年3月期 実績 FY2016 results	平成30年3月期 実績 FY2017 results	增減額 increase/decrease
有形固定資産	3,096	3,037	△ 59
リース資産	1,793	1,747	△ 45
無形固定資産	90	86	Δ3
合計	4,980	4,871	△ 109

人員および車両台数の比較



(1)人員の比較 (単位:人)

	平成29年3月期	平成30年3月期	增減	主な要因
	(March 31, 2017)	(March 31, 2018)	Incrase/Decrease	Main Factors
社 員	4,342	4,591		新卒者定期採用(141名)
(内、ドライバー)	(2,024)	(2,135)		ドライバーの正社員化による増加
契約社員・臨時要員	6,875	6,835		正社員化による減少
(内、ドライバー)	(1,867)	(1,772)		一部TC業務撤退に伴うドライバーの退職
合計	11,217	11,426	209	
(内、ドライバー)	(3,891)	(3,907)	(16)	

(2)車両台数の比較

(単位:台)

	平成29年3月期 (March 31, 2017)	平成30年3月期 (March 31, 2018)	增減 Incrase/Decrease	備考 Notes
大型車両	595	611	16	積載重量8t以上
中型車両	1,462	1,492	30	積載重量2t以上8t未満
小型車両	424	444	20	積載重量2t未満
現金輸送車両	126	122	△ 4	HNにおける警備輸送業で使用する車両
合 計	2,607	2,669	62	

平成31年3月期通期業績見通し(1)



(単位:百万円/Millions of yen)

	₩ ♣00 + 0			でより1年9日地中央を支払					
	平成30年3 FY2017		平成31年3月期度業績予想(注) FY2018 forecasts						
	金額 Amount	構成比 Strauctual ratio	金額 Amount	構成比 Strauctual ratio	增減額 Increase/Decrease	增減率 Increase/Decrease rate			
営業収益 Operating revenue	104,167	100.0%	107,300	100.0%	3,132	3.0%			
営業原価 販売費及び一般管理費 cost of goods sold selling, general and administrative expenses	100,321	96.3%	103,400	96.4%	3,078	3.1%			
営業利益 Operating income	3,845	3.7%	3,900	3.6%	54	1.4%			
経常利益 Ordinary income	3,981	3.8%	4,200	3.9%	218	5.5%			
親会社株主に帰属する 当期純利益 Net income attributable to owners of the parent	2,604	2.5%	2,500	2.3%	△ 104	△4.0%			

⁽注)業績予想については、平成30年5月8日に公表したものです。

平成31年3月期通期業績見通し(2)



■主な増減要因

営業収益

MU

- ・城南営業所のフル稼働(コンビニエンスストア物流)
- 新潟エリアでの新規業務開始(コンビニエンスストア物流)

HN

- 既存支店における新規寄託者獲得(共同配送)
- ・DC事業における新規配送エリアの獲得(問屋物流)

営業原価および販管費

- 一般職向け新人事制度の適用開始(平成30年4月~)
- ・燃油単価の上昇傾向
- ・グループ内施設・車両の相互活用のさらなる推進による外注費の削減

設備投資計画および減価償却費(計画)



(1)設備投資計画

(単位:百万円/millions of yen)

	平成30年3月期実績 FY2017 results	平成31年3月期計画 FY2018 plans	主な内容 Main contents
有形固定資産	5,491	4,300	・HN箕面森町事業用地の造成工事費用(500百万円) ・自社保有の車両代替・増車(1,200百万円) ≪代替:110台、増車:2台≫
リース資産	443	1,100	・リースの車両代替・増車(1,000百万円) ≪代替:90台、増車:6台≫
無形固定資産	549	100	
合計	6,485	5,500	

(2)減価償却費

(単位:百万円/millions of yen)

	平成30年3月期実績 FY2017 results	平成31年3月期計画 FY2018 plans	実績差 Increase/Decrease
有形固定資産	3,037	3,134	97
リース資産	1,747	1,777	30
無形固定資産	86	94	7
合計	4,871	5,006	135

株主還元について



期末の配当について

平成30年3月31日現在の最終株主名簿に記載された株主に対し、以下のとおり期末配当金のお支払いを 予定しております。

①1株あたり期末配当金 10円00銭

②支払開始日 平成30年6月28日(木)

当社は1株当たりの年間配当金額を20円(中間配当10円、期末配当10円)とした安定配当を基本とします。また、内部留保につきましては、更なる業容拡大を図るために必要となる物流施設等の大型設備投資および財務体質強化のための原資として充当してまいります。

■ご参考情報

	中間配当	期末配当	年間	配当性向
平成30年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭	19.6%
平成31年3月期予想	10円00銭	10円00銭	20円00銭	20.4%

第一次中期経営計画の進捗(1)



(単位:億円/100 Millions of yen)

	t- 0.0 0 1.11	t- 0.0 - 0 0 1 1 1 1 1.	(単位・場内/100 Millions of yen/
計画(平成28年5月10日公表)	平成29年3月期 FY2016 plans	平成30年3月期 FY2017 plans	平成31年3月期 FY2018 plans
連結営業収益	1,020	1,040	1,060
連結経常利益	32	35	40
経常利益率	3.1 %	3.4 %	3.7 %
ROA (総資産経常利益率)	4.2 %	4.6 %	5.4 %
ROE (自己資本当期純利益率)	6.5 %	6.8 %	7.2 %
実績および業績予想	平成 29年3月期実績 FY2016 results	平成30年3月期実績 FY2017 results	平成31年3月期 業績予想 FY2018 forecasts
連結営業収益	1,038	1,041	1,073
連結経常利益	39	39	42
経常利益率	3.8 %	3.8 %	3.9 %
ROA (総資産経常利益率)	5.1 %	5.1 %	5.3 %
ROE (自己資本当期純利益率)	8.4 %	7.6 %	6.9 %

第一次中期経営計画の進捗(2)



新人事制度の導入(人事制度の統合)

平成29年4月~ ・管理職向け新人事制度の適用開始

平成30年4月~ ・一般職向け新人事制度の適用開始



- ・将来的な人材交流の活性化
- ・定着率の向上
- ・人材採用者数の増加

新経理システムの導入(経理システムの統合)

平成30年4月~

- ・新経理システムの稼働開始
- ・段階的な業務フローの統一



- 財務会計のスピードアップ
- ・管理会計の品質・精度向上

管理部門の組織統合(管理機能の集約)

- 平成30年4月~
- •CF管理本部を新設
- ・両事業会社における管理本部を廃止
- ·CF総務、人事企画(新設)、人事、労務(新設) 経理、財務(新設)の各部を管理本部の直下に編成



・CFにおけるコーポレート部門を 集約、一体運営へ

トピックス -大阪府 箕面森町の土地取得について-



株式会社ヒューテックノオリンにおきまして、関西地区における今後の顧客開発に伴う取扱物量の増加への対応ならびに既存施設の賃貸借契約の満了に伴う新物流施設等の建設に向けて、物流施設用地を取得しました。

なお、建設予定の物流施設の概要等につきましては、2021年1月の竣工に向けて、鋭意検討中であります。

【取得用地概要】

(1)名 称 大阪府住宅供給公社箕面森町第3区域(企業用地ゾーン)

かみとどろみ しもとどろみ (2)所 在 地 大阪府箕面市上止々呂美、下止々呂美

箕面森町第3区域 Ⅲ-7街区

※主要エリア・スポットからのアクセス

新名神高速道路 箕面IC ···約3分

大阪市中心部 …約30分

神戸市 …約1時間

名古屋市 …約2時間

- (3)面 積 70,358.6 ㎡(21,283.5 坪)
- (4)取得金額 3,444 百万円



トピックス -埼玉県 所沢市の事業用地賃借について- 🔎



名糖運輸株式会社におきまして、業容拡大等による取扱物量の増加に 伴う既存の基幹物流センターの狭隘化に対応するため、大型の代替物 流センターの建設用地として、以下の土地について事業用定期借地権 設定契約を締結いたしました。

なお、建設を予定する物流センターの概要等につきましては、2020年春 (予定)の竣工に向けて、鋭意検討中であります。

(1)借地住所 埼玉県所沢市中富字月野原

※主要エリア・スポットからのアクセス

関越自動車道 所沢IC…約15分名糖運輸埼玉物流センター…約12分名糖運輸所沢物流センター…約15分

(2)面 積 14,631.72 ㎡(4,426 坪)

(3)契約期間 2018年7月1日~2058年6月30日(40年)

(4)借地賃料総額 1,384百万円 (40年分)

■参考:現在の埼玉物流センター概要

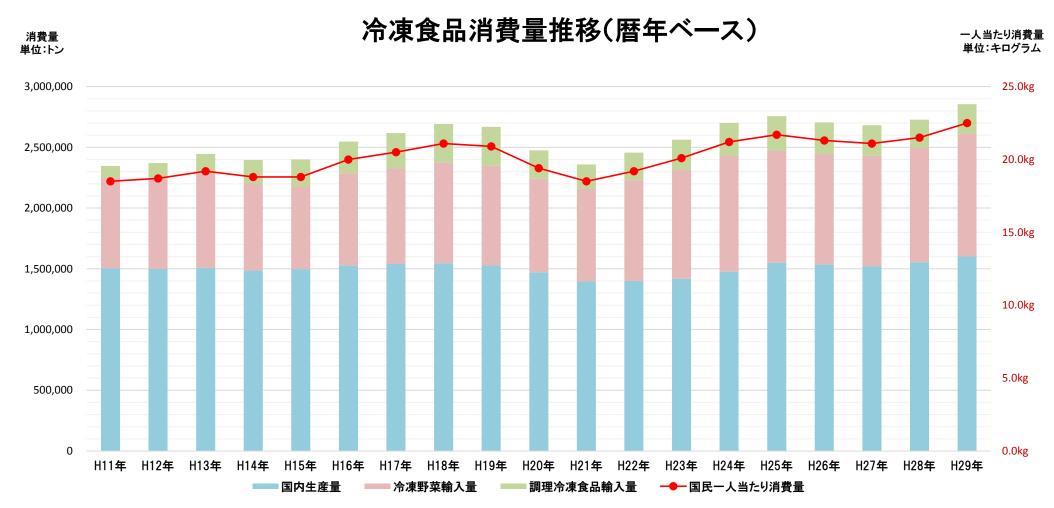


センター情報	
所在地	埼玉県所沢市亀ヶ谷146-1
敷地面積	6,664.40㎡(2,015坪)
延床面積	6,423.88㎡(1,943坪)
保管エリア面積	5,206.67㎡(1,575坪)
ドックシェルター	21基

⁽⁵⁾その他物流総合効率化法※の認定を受けることが前提の開発となります。

[※]流通業務(輸送、保管、荷さばき及び流通加工)を一体的に実施するとともに、「輸送網の集約」、「モーダルシフト」、「輸配送の共同化」等の輸送の合理化により、流通業務の効率化を図る事業に対する計画の認定や支援措置等を定めた法律



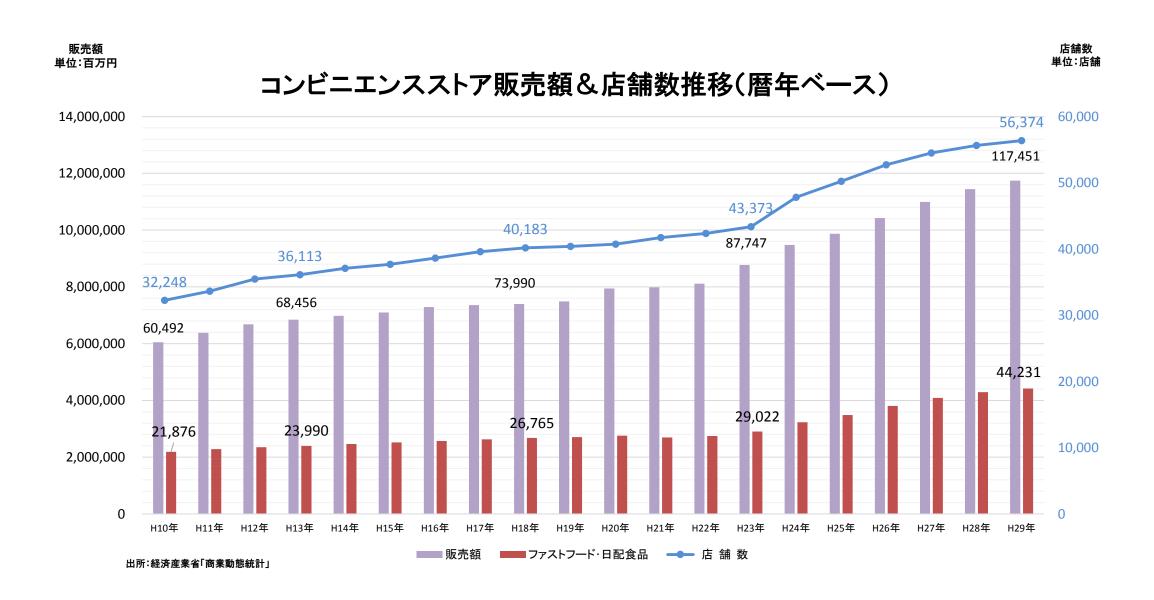


⁽注1)冷凍食品国内生産量と調理冷凍食品輸入量は日本冷凍食品協会調べ。

なお、調理冷凍食品輸入量は当協会会員社のうち、輸入冷凍食品を扱う30社を対象とした調査結果であり、平成9年から調査を実施。 (注2)冷凍野菜輸入量は「日本貿易統計」(財務省)

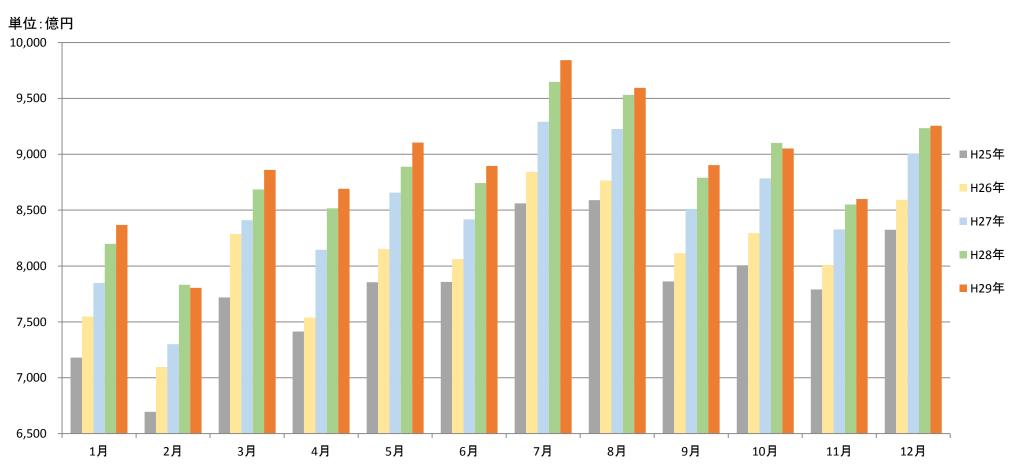
出所:一般社団法人日本冷凍食品協会「国内消費量推移」





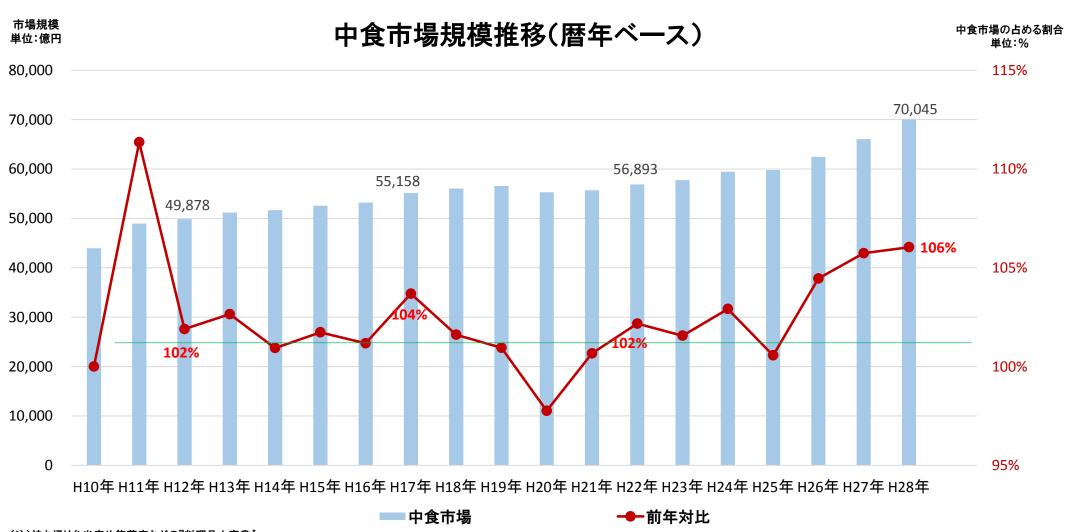


コンビニエンスストア月毎の全店売上の推移(5年間・暦年ベース)



出所:一般社団法人フランチャイズチェーン協会





(注)持ち帰り弁当店や惣菜店などの『料理品小売業』

出所:公益財団法人 食の安全・安心財団「外食産業市場規模推計の推移」



軽油価格の推移



(注)店頭現金価格(全国平均、消費税込み)

出所:資源エネルギー庁



- ※ 本資料は、平成30年3月期の当社の連結決算公表時(5月8日)の数値をベースに、 作成日現在(5月16日)において、入手可能な情報に基づき作成したものです。 今後の業績等につきましては、様々な要因によって変動する可能性がありますので、 お含みおきください。
- ※ 本資料は当社グループの決算概要をご理解いただくことを目的として作成したものであり、株式会社C&Fロジホールディングスの株式等の売買の勧誘を目的とするものではありません。

本資料に関するお問い合わせ先 株式会社C&Fロジホールディングス TEL:03-5291-8100 FAX:03-5291-6150 広報IR部/齋藤 善太郎